

平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社IGポート

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員

(氏名) 中野広之

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	1,598	△10.6	28	178.4	49	—	△17	—
26年5月期第1四半期	1,788	42.7	10	—	△8	—	△35	—

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 △18百万円 (—%) 26年5月期第1四半期 △119百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	△3.79	—
26年5月期第1四半期	△7.51	—

(注) 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	8,072	4,436	54.9
26年5月期	7,766	4,389	56.3

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 4,429百万円 26年5月期 4,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年5月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,208	17.5	459	△29.3	479	△24.5	321	△30.2	67.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	5,055,400 株	26年5月期	4,965,400 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	320,400 株	26年5月期	320,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	4,681,508 株	26年5月期1Q	4,788,100 株

(注)1 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。

上記の株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定して算定しております。

2 当社は、前期より「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております。J-ESOP信託口が所有する当社株式200,000株は、自己株式に含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により発行済株式数が90,000株増加しております。業績予想における1株当たり当期純利益は、当該増加株式数を反映して算出しております。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、緩やかな回復傾向にあります。消費増税後の個人消費は回復力が弱く、また、欧州や中国経済の成長の鈍化等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,598,365千円(前年同期比10.6%減)、経常利益は49,612千円(前年同期は8,761千円の経常損失)、四半期純損失は17,720千円(前年同期は35,942千円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーション「ハイキュー!!」「白銀の意思 アルジェヴォルン」「アオハライド」「東京ESP」「フューチャーカード バディファイト」等、ビデオ用アニメーション「攻殻機動隊ARISE border:4 Ghost Stands Alone」「進撃の巨人」「新テニスの王子様」、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

以上により、当事業の売上高は1,171,867千円(前年同期比5.4%減)、セグメント損失は6,173千円(前年同期は170,528千円のセグメント利益)となりました。

#### ② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックブレイド」「コミックアヴァルス」、コミックス「スケッチブック」「南鎌倉高校女子自転車部」「戦国妖狐」の新刊、書籍「宇宙戦艦ヤマト2199 加藤直之 ARTWORKS」等、定期月刊誌4点並びに新刊コミックス・書籍37点を刊行しました。

また、既刊の「魔法使いの嫁」「曇天に笑う」シリーズは、特に販売好調でありました。

以上により、当事業の売上高は182,894千円(前年同期比12.3%減)、セグメント損失は47,002千円(前年同期は61,025千円のセグメント損失)となりました。

なお、月刊誌「コミックブレイド」「コミックアヴァルス」の2誌は7月発売号をもって休刊とし、それぞれ完全オンライン雑誌としてリニューアルいたします。また、人気作品やメディアミックス作品を紙媒体で先行掲載する月刊誌「コミックガーデン」を新装刊いたします。

#### ③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「進撃の巨人」「黒子のバスケ シリーズ」「攻殻機動隊 シリーズ」「テニスの王子様 シリーズ」等の二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は181,118千円(前年同期比29.4%減)、セグメント利益は102,135千円(前年同期は87,697千円のセグメント損失)となりました。

#### ④ その他

その他の事業につきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化、ゲームやiPhone/iPod Touch向けアプリ等により当事業の売上高は62,485千円(前年同期比26.8%減)となり、セグメント損失は992千円(前年同期は8,705千円のセグメント利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ305,732千円増加し8,072,649千円となりました。主な要因は仕掛金が175,577千円、映像マスターが97,907千円、現金及び預金が94,229千円増加し、一方、売掛金が53,609千円、繰延税金資産が32,965千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ258,869千円増加し3,636,206千円となりました。主な要因は前受金が398,376千円、買掛金が106,122千円増加し、一方、未払法人税等が195,304千円、返品調整引当金が11,200千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ46,862千円増加し4,436,443千円となりました。主な要因は新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金が45,000千円づつ増加し、一方、配当金の支払い及び四半期純損失の計上により利益剰余金が41,945千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の業績予想につきましては、平成26年7月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

① 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、009 RE:CYBORG 製作委員会は重要性が乏しくなったため、連結の範囲から除外しております。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、ハル製作委員会1社は、四半期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,427,134	2,521,363
受取手形及び売掛金	1,090,639	1,037,030
商品及び製品	113,339	121,318
仕掛品	1,483,989	1,659,567
貯蔵品	7,964	7,927
前渡金	21,589	38,656
繰延税金資産	99,708	66,742
その他	107,313	122,916
貸倒引当金	△26,552	△27,352
流動資産合計	5,325,126	5,548,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	707,106	695,325
土地	829,579	829,579
映像マスター(純額)	430,064	527,971
その他(純額)	48,035	50,768
有形固定資産合計	2,014,786	2,103,644
無形固定資産		
のれん	60,578	56,251
その他	13,406	12,757
無形固定資産合計	73,984	69,008
投資その他の資産		
投資有価証券	156,106	160,836
その他	234,124	228,138
貸倒引当金	△37,210	△37,146
投資その他の資産合計	353,019	351,827
固定資産合計	2,441,790	2,524,480
資産合計	7,766,917	8,072,649

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	616,784	722,906
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	204,946	208,441
未払法人税等	219,372	24,067
前受金	1,331,350	1,729,726
賞与引当金	—	31,627
役員賞与引当金	10,564	1,044
返品調整引当金	61,663	50,463
受注損失引当金	33,809	38,298
その他	318,062	259,586
流動負債合計	3,136,549	3,406,157
固定負債		
長期借入金	179,188	169,189
退職給付に係る負債	37,507	37,924
その他	24,092	22,936
固定負債合計	240,787	230,049
負債合計	3,377,336	3,636,206
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	736,500	781,500
資本剰余金	1,877,669	1,922,669
利益剰余金	2,188,835	2,146,890
自己株式	△420,870	△420,870
株主資本合計	4,382,134	4,430,189
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,437	△597
その他の包括利益累計額合計	△6,437	△597
少数株主持分	13,883	6,851
純資産合計	4,389,580	4,436,443
負債純資産合計	7,766,917	8,072,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	1,788,587	1,598,365
売上原価	1,596,373	1,392,383
売上総利益	192,214	205,982
返品調整引当金戻入額	600	11,200
差引売上総利益	192,814	217,182
販売費及び一般管理費	182,546	188,601
営業利益	10,267	28,581
営業外収益		
受取利息	205	245
為替差益	-	7,848
デリバティブ評価益	-	4,730
受取賃貸料	8,259	12,720
その他	1,171	5,580
営業外収益合計	9,636	31,124
営業外費用		
支払利息	1,270	1,106
為替差損	9,159	-
投資有価証券評価損	10,415	-
賃貸収入原価	6,491	8,095
その他	1,329	891
営業外費用合計	28,665	10,093
経常利益又は経常損失(△)	△8,761	49,612
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△8,761	49,612
法人税、住民税及び事業税	85,441	42,994
法人税等調整額	791	31,371
法人税等合計	86,233	74,365
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△94,994	△24,752
少数株主損失(△)	△59,052	△7,031
四半期純損失(△)	△35,942	△17,720



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△94,994	△24,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123	-
為替換算調整勘定	△24,253	5,840
その他の包括利益合計	△24,377	5,840
四半期包括利益	△119,371	△18,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60,319	△11,880
少数株主に係る四半期包括利益	△59,052	△7,031

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,238,145	208,446	256,638	1,703,230	85,356	1,788,587
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,238,145	208,446	256,638	1,703,230	85,356	1,788,587
セグメント利益又は損失 (△)	170,528	△61,025	△87,697	21,805	8,705	30,510

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	21,805
「その他」の区分の利益	8,705
のれんの償却額	△6,674
全社費用(注)	△13,568
四半期連結損益計算書の営業利益	10,267

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,171,867	182,894	181,118	1,535,880	62,485	1,598,365
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,171,867	182,894	181,118	1,535,880	62,485	1,598,365
セグメント利益又は損失(△)	△6,173	△47,002	102,135	48,959	△992	47,967

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	48,959
「その他」の区分の利益	△992
のれんの償却額	△4,327
全社費用(注)	△15,059
四半期連結損益計算書の営業利益	28,581

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

子会社の設立について

当社は、平成26年10月1日に子会社を設立しております。

1. 子会社設立の目的

当社グループのアニメーションを主とする映像制作事業において、フルデジタルアニメーション及びスマートデバイス向けのアプリケーションの技術開発等を行ない、主に子供向け及びファミリー向けのアニメーションの制作基盤を構築し、グループの中長期における業績の拡大を目的として新たに子会社を設立いたしました。

2. 子会社の概要

(1) 商号	株式会社シグナル・エムディ
(2) 所在地	東京都武蔵野市中町一丁目16番10号
(3) 代表者	森下 勝司
(4) 事業の内容	アニメーションの企画・制作
(5) 資本金	30,000千円
(6) 出資比率	当社100%